

第28回 REQUIRE研究集会

臨床疫学研究における報告の質向上のための統計学の研究会

ベイズ統計を用いた臨床試験 :より効率的・倫理的なデザインへ

プログラム

講演

1

ベイズ統計の基礎

国里愛彦 (専修大学人間科学部心理学科)

講演

2

ベイジアン アダプティブ・デザインを用いた臨床試験
の報告事例

講演

3

清水沙友里 (医療経済研究機構)
フェーズI/IIにおけるベイジアン アダプティブ・メソッド

講演

4

竹林由武 (福島県立医科大学医学部)
フェーズII/IIIにおけるベイジアン アダプティブ・メソッド
横山仁史 (広島大学大学院医歯薬保健学研究科)

日時

2017年3月18日 (土) 14:00~18:10

場所

東京医科歯科大学湯島キャンパス(御茶ノ水駅より徒歩1分)
1号館西7階 口腔保健学科 第3講義室

参加費

会員:500円/非会員:1000円

参加登録

参加登録:<http://kokucheese.com/event/index/452210/>

事前登録制・先着順(〆切:2017年3月15日)

※懇親会では、発表者や参加者と気軽にディスカッションできます。ぜひご参加ください。

臨床疫学研究における報告の質向上のための統計学の研究会

第 28 回研究集会

目的	<p>本研究会は、研究報告の質 (reporting quality) 向上のための統計学の勉強会です。</p> <p>臨床疫学系の多くの研究者は、統計学の専門家ではありません。我々は、論文を書くための「道具」として、統計学を使っています。我々が論文を書く際は、より良い研究になるように、「適切」に方法や結果を記述したいと願っています。国際的には、統計手法別に、どのような情報を論文で記述すべきかを規定しているガイドライン (reporting guideline) が数多く公表されています。しかし、我々は、残念ながら、こういったガイドラインの学習にまで、なかなか手を伸ばせないために、「ある統計手法を使ったものの、どのように論文に報告すれば良いかわからない」といった問題によく遭遇していると思います。</p> <p>こうした問題を解決すべく、本研究会では、「データ解析環境 R を共通言語として、より良い研究をするために、研究報告の質を向上させるよう一緒に勉強する場を提供すること」を主眼としています。このような場を利用して、臨床疫学系研究者が統計学の勉強を継続する「熱意」を保ち、より良い研究を国際的に発信していくことを願っています。</p>
会場	<p>東京医科歯科大学 湯島キャンパス 1号館西7階 口腔保健学科第3講義室 (最寄り駅：JR「御茶ノ水駅」、丸ノ内線「御茶ノ水駅」、千代田線「新御茶ノ水駅」)</p>
開催日時	<p>2017年3月18日(土)</p> <p>研究会(会員:500円/非会員1000円/事前登録制):14:00~18:10</p> <p>懇親会(有料:4000円程):18:30~20:30</p>
定員	<p>45名(開催最低人数:6名)</p> <p>注)1研究室あるいは1企業からの参加人数を制限させて頂く場合がございます。</p>
参加資格	<ol style="list-style-type: none">臨床疫学系の研究者(大学院生以上)発表者になることを厭わないことデータ解析環境 R を使用したデータハンドリングの基礎がわかること (目安として「舟尾暢男・高浪洋平(2005)データ解析環境 R. 工学社」の第2章から第5章の内容を理解していること)
参加方法	<ol style="list-style-type: none">今回の研究会に参加希望の方は、告知S(***)にて参加登録下さい。登録方法は、画面中央の「お申し込みはこちら」ボタンをクリックすると登録画面に進みます。手続きが完了すると「お申し込み完了」メールがすぐに送付されます。ML加入者が優先参加できます (https://groups.google.com/d/forum/require_epi)。
注意	<p>発表資料は前日にデータで送付します。各自印刷してお持ち下さい。</p>
主催者	<p>奥村泰之(一般財団法人医療経済研究・社会保険福祉協会 医療経済研究機構 研究員)</p> <p>市倉加奈子(東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科)</p>
世話人	<p>清水沙友里(医療経済研究機構 主任研究員)</p>
協力者	<p>松岡志帆(東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科 博士課程2年)</p>
謝辞	<p>本研究会は、寄附金により運営されています (http://japangiving.jp/c/11776)。健全かつ継続的な運営体制の構築のため、御支援の程よろしく申し上げます。</p>

ベイズ統計を用いた臨床試験：より効率的・倫理的なデザインへ

13:30	開場
14:00	開会の挨拶 (5分) 清水沙友里 (医療経済研究機構 主任研究員)
14:05	次回の研究会の説明 (5分)
14:10	ベイズ統計の基礎(発表 40分; 質疑 15分) 国里 愛彦 (専修大学人間科学部心理学科 准教授)
	休憩(5分)
15:10	ベイジアン・アダプティブ・デザインを用いた臨床試験の報告事例(発表 25分; 質疑 15分) 清水 沙友里 (医療経済研究機構 主任研究員)
	休憩 (10分)
16:00	フェーズ I / II におけるベイジアン・アダプティブ・メソッド(発表 45分; 質疑 15分) 竹林 由武 (福島県立医科大学医学部健康リスクコミュニケーション学講座 助教)
	休憩 (5分)
17:05	フェーズ II / III におけるベイジアン・アダプティブ・メソッド (発表 45分; 質疑 15分) 横山 仁史 (広島大学大学院医歯薬保健学研究科 博士課程 3年)
18:05	次回の研究会の調整 (5分)
18:10	閉会

18:30 懇親会 (20:30 終了)

注) 研究会の主旨に従い、発表者に講師料等は一切お支払していません。

臨床疫学研究における報告の質向上のための統計学の研究会
 第28回研究集会
 会場までの順路

日時:2017年3月18日(土) 14:00~18:10(研究会)

会場名:東京医科歯科大学 湯島キャンパス 1号館西7階 口腔保健学科第3講義室



TMDU
東京医科歯科大学

キャンパスマップ

Tokyo Medical and Dental University Campus Map

湯島地区 Yushima Campus	
①	1号館西 Building 1 West
②	2号館 Building 2
③	1号館東 Building 1 East
④	7号館 Building 7
⑤	歯科棟北 Dental Building North
⑥	歯科棟南 Dental Building South
⑦	10号館 Building 10
⑧	医科A棟 Medical Building A
⑨	医科B棟 Medical Building B
⑩	3号館 Building 3
⑪	M&Dタワー M&D Tower
⑫	5号館 Building 5
⑬	6号館 Building 6
⑭	8号館南 Building 8 South
⑮	8号館北 Building 8 North
駿河台地区 Surugadai Campus	
⑯	生体材料工学研究所 Institute of Biomaterials and Bioengineering
⑰	難治疾患研究所駿河台棟 Medical Research Institute Surugadai
⑱	看護師宿舎(レジデンス茗芳) Nurses Dormitory(Residence-Meiho)



1号館西 案内図

1階



7階

